

# 小木の子 われら

校 区 内  
全 戸 回 覧

令和6年12月3日発行

## 折り合いをつける力

校長 高橋 高志

11月29日に毎年恒例の**児童会行事「冬のお楽しみ会」**が、総務委員会のみなさんの計画のもとで行われました。2～6年生が、全校のみんなが楽しめるお店（遊びのコーナー）を考え、運営します。参観日ではありませんが、多くの保護者の皆様にもご来校いただき、とても盛り上がりました。お客さんとして初参加の1年生も、とても楽しそうにスタンプカードを見せてくれました。**子どもたちのアイデアが形になる**この行事を、私は毎年とても楽しみにしています。紙面の都合で全ては紹介できませんが、各学年のお店を回ってみて感じたことをお伝えします。

2年生：どのおもちゃも手作りで温かみがあり、ほっこりした気持ちになりました。特にカメのおもちゃの動きが、一つ一つ個性があってとても面白かったです。

3年生：10秒ぴったりでストップウォッチを止める種目が、シンプルですが楽しかったです。何度も挑戦したくなりました。10秒00の人がいてびっくり！

4年生：どうぶつたたきは、穴から出てくる動物が早く引っ込むので、なかなかハンマーでたたけませんでした。でも、その難しさが面白かったです。

5年生：射的は、説明や輪ゴムの準備がとても丁寧でした。シュートゲームは、投げた玉がスムーズに戻されて、とぎれることなくたくさん投げることができました。

6年生：お化け屋敷は、驚かすのが上手でした。リピーター（何回も来ていた人）もいました。「かおなし」と握手できたのでうれしかったです。

子どもたちは、どんなお店にするのか話し合ったり準備をしたりする過程で、友達と意見が違うこともあったと思います。そして、その時に**譲ったり複数の考えを合わせたり**して折り合いをつけていったのではないかと思います。

**自分の思いばかりを通すのではなく、できるだけ多くの人が満足できるように振る舞う**ことは、社会で生きていく上でとても大切なことです。多様性が尊ばれる時代だからこそ、自分の考えを伝えつつも周囲の人を尊重し「**折り合いをつける力**」を、児童会行事やクラス会議を通して子どものうちから育てていかなければならないと思っています。